

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和4年度 海津特別支援学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和4年10月25日（火） 13：15～15：15
- 3 開催場所 海津特別支援学校 会議室
- 4 参加者

会 長	水谷 芳郎	有限会社吉野屋 代表取締役
副会長	児玉 泉	民生委員（主任児童委員）
委 員	白旗 徹	障がい者センター あいさんハウスぎふ施設長
	大橋 恵美子	共同生活援助 れんげの家 所長
	細井 豊年	海津市平田町今尾地区 前区長
	飯田 かゆ美	海津市更生保護女性会 会長（欠席）
	田内 和子	輪之内町発達支援センターそら 管理者
	古川 朱美	本校 PTA会長
学 校 側		
	各務 美保	校長
	平松 均	教頭
	武藤 小百合	事務長
	栞原 正美	小学部主事
	山根 涼	中学部教務
	服部 純	高等部主事

5 会議の概要（協議事項）

- ①本年度前期の取組について
- ②学校評価アンケートの集計結果について
- ③各部の児童生徒の様子（小学部・中学部・高等部）
- ④授業参観

意見1：小学部の体育の授業を参観した。第1回の時に比べて大きく成長している様子が見え、感銘を受けた。コロナ禍で大変だと思うが、消毒やマスク着用が必要なマイナスの状況を、規律を守り丁寧に暮らすための力を養うプラスの状況に変える活動が多々見られた。アンケート集計結果から、本校の進路指導に関する評価は他校に比べて極めて高いと思われる。地域との連携と、地域の中の学校であることが感じられた。小学部の児童が、自分でできたことを喜ぶ姿や、中学部と高等部の生徒が、自分から発言し、自ら選び作る姿にも感銘を受けた。卒業後も社会で見守られて成長することを期待している。

意見2：中学部の生徒が個々の状況にあった課題を的確にこなしている姿を見ることができた。障がい児者の教育と福祉振興大会に参加したが、本校の学校紹介や地域との連携、就労に向けての取組について話を聞くことができた。小規模校のメリットを生かして個々にしっかりした指導が行われていると感じた。

- 意見3：授業参観をして教育と療育の共通点を感じた。ICT機器を使用した教育風景を見て、とても刺激を受けた。デイサービスでもタブレットなどを利用しようとして検討しているが、遊び活動だけになってしまうのではないかと心配していたところであった。しかし、ICT機器を用いた活動も視野に入れたと感じた。個々に応じた教育プログラムが用意されており、さらに、就業体験で力を伸ばし、他者と関わりを持つようとする気持ちが育成されているようだ。
- 意見4：小学部低学年の様子を参観した。おとなしく、教員の指示をよく聞いて活動している。アンケート結果を活かしたほうが良い。特にE回答の割合が多い項目に注目してほしい。相談しやすそうな雰囲気作りは、普段からの声掛けにより作ることができる。
- 意見5：輪之内町出身の児童生徒の様子をいつも気にかけているが、元気に活動する姿を見ることができてうれしかった。地域の小中学校から特別支援学校高等部に進学する場合もあるだろうが、生徒の状況に合った落ち着いた環境で生活することで、本来の力を発揮できるのだと思う。何事も積み重ねが大切だと感じた。
- 意見6：中学部のFBC（フラワー・ブラボー・コンテスト）の取組について新聞で拝見し、とてもうれしく思った。小学部の体育の授業を参観して、子どもの力はすごいと感じて思わず拍手をしてしまった。児童と担任との絆の大きさも実感した。大きな発見だった。
- 意見7：地元企業との連携の必要があれば、ぜひ、協力したい。口コミでのつながりは意外に効果大きい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、前期の取組について各委員より意見をいただくと同時に、学校評価アンケート結果について良い点や改善点などの意見をいただいた。これらを反映して後期の改善に取り組んでいきたい。また、授業参観及び、各部の児童生徒の様子や変容、学部毎の指導支援の目標や個々に応じた具体的な教育活動についても説明した。第3回学校運営協議会は2月2日（木）を予定している。